

# 令和元年度 長崎県臨床検査技師会定期総会報告

令和元年5月25(土)諫早総合病院6階大会議室において、令和元年度長崎県臨床検査技師会定期総会が開催されました。当日は一般会員98名と多くの賛助会員の参加があり、総会においては、丸田会長の挨拶に始まり、令和元年後事業計画・予算案に加え、今回は転勤に伴う役員の退任もあり、新たに4名の技師が新理事として承認されました。



総会後には、特別講演として、一般社団法人日本臨床検査技師会会長・参議院議員である宮島喜文先生により、「『次』のために『今』なすべきこと」と題して講演を賜りました。先生のこれまでのご経験、国会議員としての視点から、今後の日本はどうなっていくのか、また、それを考えて自分たちはどのように行動すべきかについて講演され、大変興味深い内容でした。厳しい現状の話もある中で、途中で笑いあり、参加された皆様は真剣に講演に耳を傾けていました。道を切り開くにはやはり政治的な力が必要なことが痛感させられました。宮島先生に続き、今回、小川しんじ氏が立候補されることもあり、技師連盟への協力、会員の結束力強化を行い、同じ方向を向けるようにしなければならないと感じる講演でした。



その後の懇親会は、ホテルセンリュウにて開催され一般会員、賛助会員合わせて85名の参加があり、盛大に行うことができました。諫早総合病院の今里前技師長に挨拶と乾杯の音頭をとって頂きました。宮島先生におかれましては、非常にご多忙な中、懇親会にもご参加頂き、日臨技会長・国会議員と直接お話できるということもあり、盛り上がっていました。





最後は今村前会長の一本締めにより大変盛り上がった会も終了となりました。  
会員の皆様の多数の参加により盛況に終われましたことをお礼申し上げます。また、スタッフの皆様もお疲れ様でした。